

## 県立高校改革推進プラン・第2次実施プログラム（案）に関する意見と県の考え方

※提出された御意見について、趣旨を損なわない範囲で要約させていただきました。

| プラン・プログラム全般                                                          |                                                                                              |
|----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 御意見の概要                                                               | 県の考え方                                                                                        |
| 生徒の学びの多様化、困難を抱えた生徒の増加、といった現状と課題をしっかりと明記すべきです。                        | 本プログラムは、令和4年3月に策定した県立高校改革推進プランに基づく具体的な計画となる「高校改革の取組」等を記載したものです。いただいた御意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。 |
| 学びの主体である生徒の状況とその背景にふれながら、新たな学び、学校づくり、必要な支援を丁寧に述べるべきです。               |                                                                                              |
| 第2段落の「雇用のミスマッチ等」は、取り下げしてほしい。                                         | 高卒就職者の3年以内の離職率が4割程度と、離職者が多い状況等を踏まえ記載したものです。                                                  |
| 第4段落の第1文の途中に、次の文言（下線）を追加する。<br>～動きがある中で、「財政的な支援とともに、」公立高校の果たすべき～     | 公立高校における魅力ある学校づくりの必要性について言及したものです。財政的な支援の必要性は認識しており、いただいた御意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。            |
| 第4段落4行目の「産業と連携した人材の育成、」部分を修正する。その際、少なくとも「人材」という語を「人」に修正する。           | 「知識やスキルを持つ人」を想定し、「人材」としたところです。                                                               |
| 第4段落にある「多様化する教育ニーズ」は、「生徒の多様なニーズ」または「幅広い学びのニーズ」としたほうがよいのではないのでしょうか。   | 御意見を踏まえ、「多様な教育ニーズ」に修正しました。                                                                   |
| 第4段落最後の文中に「人員」という語を加えて、次の通りとする。<br>「～9項目15校について教育内容と施設・設備・人員の充実を図る～」 | 御意見を踏まえ、「9項目15校について教育内容と施設・設備等の充実を図る」に修正しました。                                                |
| 「少子化への対応」、「少子化に対応するため」はふさわしくありません。人口減少、または人口減少に伴う生徒減、とすべきではないでしょうか。  | 子どもの数が減少している現状から引用したものです。                                                                    |
| 都市部の高校は、40人学級が6から8学級が適正であるとする根拠は示されていません。                            | 生徒が多くの人や教職員との触れ合いやお互いの切磋琢磨の機会を確保し、教育課程の柔軟な編成や活力ある教育活動を展開できるようにするには、一定の学校規模が必要だと考えています。       |
| 公立高校を維持・充実するための予算を増額し、統廃合ではなく存続の道を工夫していただきたい。                        | いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。                                                              |
| 全国の小規模校や分校方式に学び、統廃合せず生徒の高校選択の条件悪化を招かないことが重要だと考えます。                   |                                                                                              |
| 卒業生や在校生・保護者・地域住民・関係者が存続を希望するならば、希望の光を消さないよう、是非とも存続の道を探って頂きたい。        |                                                                                              |

|                                                                                                                                              |                                                                                                                       |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 募集定員に達しないからと統廃合を進めるのではなく、少人数学級の利点を生かして教育を進めるべきである。                                                                                           | 今後の中学校卒業予定者数の減少が見込まれることなども踏まえ、本プログラムで公表したものです。いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。                                         |
| 学級数が少なく、しかも「定員割れ」している学校では少人数の良さが生かされています。公立高校にしかできない改革推進プランを望みます。                                                                            |                                                                                                                       |
| 公立高校の数を減らす統廃合ではなく、38人以下学級を実施するなど、公立と私立ともに少人数学級をめざしてはどうか。                                                                                     | 高等学校の学級編制は、国の法律に基づき、1学級40人を標準としています。いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。                                                   |
| 県議会25人学級決議を急いで実現し、全ての子ども「等しく教育を受ける権利」を保障するべきです。                                                                                              |                                                                                                                       |
| 今回発表された3組の統合は、現状を考えるとやむを得ないと思います。定員割れをしている学校では少人数で手厚い指導ができて、との声がありますが、そこにかけけている教員を他校に回すべきだと思います。                                             | いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。                                                                                       |
| 船橋北高校や八千代西高校は自転車通学生が多いと聞く。今まで20～30分の通学時間が統廃合で相当長くなってしまうことが予想される。安全面からの不安もある。このようなことを考慮していないのではないか。                                           | 引き続き、生徒の交通安全教育の充実に努めてまいります。                                                                                           |
| 統合に際して、様々な備品が処分されます。今まで整備してきたものがです。お金をかければいくらでもよくなるのであれば、当然もう良くなっているはずです。                                                                    | 統合にあたっては、各校の備品の積極的な活用を進めてまいります。                                                                                       |
| 県や県教育委員会が最優先で考えるべきことの一つめは、まず来年度以降たくさんの教員を採用していくこと。                                                                                           | 引き続き、優秀な人材の確保に努めてまいります。                                                                                               |
| 現校舎の老朽化に対応し、全教室や体育館へエアコンの設置、障がい者やけが人対応のためのエレベータ設置など施設設備の拡充を図るべきだ。                                                                            | 引き続き、県立高校の教育環境の整備に努めてまいります。                                                                                           |
| 今後同様の会議体が設けられる際には、地域住民の参加を強く要望します。                                                                                                           | 今後も、地域住民の方をはじめ広く県民の皆様から御意見を伺いながら、魅力ある県立高校づくりに努めてまいります。                                                                |
| 統廃合によってその高校に行けたはずの生徒や現在の生徒達が高校に通えなくなったり、通いづらくなります。つまり、等しく教育を受ける権利（発達・学習権）が侵害される生徒が出てきます。しかも、統廃合対象校の生徒たちはいずれも声を上げづらい弱い立場にいる生徒や家庭です。統廃合をやめなさい。 | 生徒が多く友人や教職員との触れ合いやお互いの切磋琢磨の機会を確保し、教育課程の柔軟な編成や活力ある教育活動を展開できるようにするには、一定の学校規模が必要だと考えています。いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。 |

|                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                          |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6校3組の拙速な統合に反対します。                                                                                                                                                  | 今後の中学校卒業予定者数の減少が見込まれるなか、令和5年度に地域協議会を行い、学識経験者、地域関係者、私学関係者、教育関係者から御意見をいただきました。令和6年度には、学校運営協議会等の場をお借りして地域フォーラムを開催し、直接地域関係者や学校関係者から御意見を伺いながら、慎重に検討してきたところです。 |
| 千葉県の高等学校教育を長期的に見通したとき、私立並の教育予算を立てて、公立にしか実践できない公教育を再考していただきたい。魅力ある学校とは、生徒一人ひとりに行き届いた教育を実践することであり、それを実践している学校を潰しては教員のモチベーションも低下する。全国47位という少ない教育費では、魅力ある学校は実現しないと考える。 | いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。                                                                                                                          |

| 多古高校 地域社会に関する学び                                                                                                            |                                                                                                                                 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 御意見の概要                                                                                                                     | 県の考え方                                                                                                                           |
| 県立多古高校に航空機整備、倉庫物流、国際交流など、空港関連の仕事に特化した専門学科の設置を検討していただきたい。                                                                   | 多古高校では、成田空港に近接する立地を生かし、グランドハンドリング（地上支援業務）や保安検査場業務等、空港関連の人材育成を目指し、関係部局と連携した探究的な学びを実践することとしています。いただいた御意見は、魅力ある高校づくりの参考とさせていただきます。 |
| 成田国際空港側の人材ニーズや協力体制について協議し、連携協定などを結んだり、航空関連企業と連携し、専門的な知識や技術を学べる環境を整備することで、安定した即戦力人材の輩出が可能な高校として、地域での存在意義を大いに発揮することになると思います。 |                                                                                                                                 |
| 多古高校が明確な方針を打ち出すことは、町全体の教育方針に大きな影響を与えると想定します。                                                                               |                                                                                                                                 |
| 多古町で、幼少期から成田空港や航空業界を身近に感じる機会を提供する取り組みをすることで、将来的に空港関連の仕事に就く人材が育つ町とのイメージを浸透させて、地方創生や若者の町外流出防止につながると考えています。                   |                                                                                                                                 |

| 銚子商業高校 水産教育の充実                                                                                                                                            |                                                                                      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 御意見の概要                                                                                                                                                    | 県の考え方                                                                                |
| <p>洋上風力発電に関する学びの導入は、地域の将来を見据えた先進的な取り組みと理解していますが、現在の経済状況を踏まえると、実際の設置見通しが不透明になっている印象を受けるがどうか。</p> <p>もし洋上風力発電の設置が実現しない場合、導入された学びの方向性や進路支援はどのように対応されるのか。</p> | <p>今後も、国や地元等の動向を注視しながら、地域の特性を生かした学びを進めてまいります。</p>                                    |
| <p>陸上風力発電への応用も視野に入れる場合、水産教育（海洋科）としての整合性についても再検討が必要ではないか。</p>                                                                                              |                                                                                      |
| <p>今後の水産教育の在り方について、現行の3校体制の維持か、資源の集約と発展かを含め、次のプランに向けた見通しを明確に示していただきたい。</p>                                                                                | <p>本プログラムでは3校において、地域の特性を生かし、水産教育の充実を図ることとしたところです。いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。</p> |
| <p>銚子商業における洋上風力発電に関する学びや、大原高校におけるマリンレジャーに関する学びは、地元における雇用と一体となって推進されるのが望ましいと考えます。</p>                                                                      | <p>本プログラムでは、地域の特性を生かした学びを関連企業や漁協等と連携していくこととしています。いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。</p> |
| <p>銚子商業高校部分の「洋上風力発電に関する学び」について、再考する余地がある。</p>                                                                                                             | <p>今後も、国や地元等の動向を注視しながら、地域の特性を生かした学びを進めてまいります。</p>                                    |

| 大原高校 水産教育の充実                                                                             |                                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 御意見の概要                                                                                   | 県の考え方                                                                                  |
| <p>種苗生産や放流などの実践的な学習活動をより高度に展開するためには、先進的な設備の整備が求められます。</p>                                | <p>いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。</p>                                                 |
| <p>マリンレジャーは安全管理が極めて重要な分野であり、最新かつ安全性の高い機材を用いた教育が、生徒の成長と地域の海業の魅力向上につながると考えます。</p>          |                                                                                        |
| <p>今後の水産教育の在り方について、現行の3校体制の維持か、資源の集約と発展かを含め、次のプランに向けた見通しを明確に示していただきたい。<br/>(再掲)</p>      | <p>本プログラムでは3校において、地域の特性を生かし、水産教育の充実を図ることとしたところです。いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。</p>   |
| <p>銚子商業における洋上風力発電に関する学びや、大原高校におけるマリンレジャーに関する学びは、地元における雇用と一体となって推進されるのが望ましいと考えます。(再掲)</p> | <p>本プログラムでは、地域の特性を生かした学びを関連企業や漁協等と連携していくこととしたところです。いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。</p> |

| 館山総合高校 水産教育の充実                                                                                                             |                                                                              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 御意見の概要                                                                                                                     | 県の考え方                                                                        |
| 水産教育の核として、県内３校での乗船実習や県民向けの啓発、小中学生への海洋教育など、多面的な活用を前提とした新たな実習船の建造を強く望みます。                                                    | いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。                                              |
| コース再編については、教育現場の声を丁寧に反映し、館山総合高校らしい特色あるコース設計がなされることを期待します。                                                                  |                                                                              |
| 今後の水産教育の在り方について、現行の３校体制の維持か、資源の集約と発展を含め、次のプランに向けた見通しを明確に示していただきたい。<br>(再掲)                                                 | 本プログラムでは３校において、地域の特性を生かし、水産教育の充実を図ることとしたところで、いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。 |
| 今回、館山総合高校の遠洋漁業教育コースを廃止する案に対し、地元経済サイドとして強い危機感を表明いたします。                                                                      | いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。                                              |
| 海のまち館山の“船舶教育の死”を感じざるを得ません。                                                                                                 | 館山総合高校では、５級海技士の養成は継続してまいります。いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。                  |
| 国内外から優秀な人材を呼び込み育てる教育環境が不可欠です。                                                                                              | いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。                                              |
| 館山総合高校の遠洋漁業教育は、未来の日本の子どもたちに「世界とつながる海のキャリア」という選択肢を残す投資であり、地域社会全体としても観光・海運など基盤産業の発展に関わる事であり、地域の持続可能性に直結していく大事なポイントだと思っております。 |                                                                              |
| 民間連携で新しいモデルを廃止ではなく、地元企業・自治体・県が協力して教育モデルを再構築すべきではないでしょうか。                                                                   |                                                                              |
| 沿岸漁業に加え、遠洋漁業の完全廃止ではなく、それらを今後の産業発展の土台として位置付け、次世代の子供たちに誇れる選択肢を残すためにも、ぜひ遠洋漁業教育の存続と発展を願っております。                                 |                                                                              |
| 専攻科の廃止については賛成です。県単体で３級海技士の育成を図ることは、費用対効果を考えると現実的ではありません。                                                                   |                                                                              |
| 遠隔地や全国からの生徒募集の検討については賛同します。水中土木工事に特化して、寮完備により全国から生徒を受け入れている岩手県立種市高校のように、何らかの分野に特化した学科が望まれます。                               |                                                                              |
| 水産高校の専攻科は廃止すべきだと思います。                                                                                                      |                                                                              |

| 東総工業高校・茂原樟陽高校 工業教育の充実                                                                                  |                                                                       |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 御意見の概要                                                                                                 | 県の考え方                                                                 |
| デュアルシステムについては、卒業後の雇用に直結するような仕組みであると良いと思います。地元企業が高卒求人を好条件でしっかり採用してくれるのであれば、職業系専門高校への志願者が増えると思います。       | いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。                                       |
| 工業教育の充実 冒頭の表の備考「工業に関する学科を再構成」する前段として、少人数学級の先行導入を実現するべきである。                                             | 高等学校の学級編制は、国の法律に基づき、1学級40人を標準としています。いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。   |
| 産業人材の育成が急務とされている中、学科の再編案が示され、人材育成の機会が狭められている。これまでの志願者数低下に基づく学科等の再編は、学科の多様な学びを実現しようとする質の面を軽視しているように見える。 | 学科の再編にあたっては、更なる魅力的な学びを展開できるよう進めてまいります。いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。 |
| 千葉市・京葉臨海地区以外にも工業系高校が所在しています。各地区で同じ質の教育が施せるよう協力をお願いしたい。                                                 | いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。                                       |
| 専門学科の内容が細分化されすぎていると、中学生にとって選ばれにくいと思います。わかりやすい学科への再構成は賛成です。                                             | いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。                                       |

| 柏高校・佐原高校 単位制高校の設置                                                   |                                 |
|---------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 御意見の概要                                                              | 県の考え方                           |
| 進学指導重点校への単位制の導入は賛成です。                                               | いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。 |
| これで全ての進学指導重点校が単位制になります。が、県として進学指導重点校への支援を、特に財政面において強化していただきたいと思います。 |                                 |

| 八千代東高校・八千代西高校 全日制高校の配置（統合）                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 御意見の概要                                                                                                                         | 県の考え方                                                                                                                                                                                           |
| 学校の所在地もかなり離れており、学校の特色も全然異なった両校を統廃合をするのは、社会の変化に対応し、生徒それぞれの豊かな学びを支え、地域のニーズに応える、活力と魅力ある県立高校づくりを目指すとしている県立高校改革推進プランの趣旨からして無理があります。 | 生徒が多くの友人や教職員との触れ合いやお互いの切磋琢磨の機会を確保し、教育課程の柔軟な編成や活力ある教育活動を展開できるようにするには、一定の学校規模が必要だと考えています。学校の適正規模・適正配置の実施も進めながら、学校の活性化を図ってまいります。                                                                   |
| 八千代地区の小中学生激増に伴う施策の一環として、今年度5月下旬に突然統廃合該当校として発表されたことは、あまりに拙速な判断と言わざるを得ない。                                                        | 統合にあたっては、今後の八千代市内の中学校卒業予定者数の減少が見込まれることなどを踏まえ、本プログラムで公表したものです。また、令和5年度に地域協議会を行い、学識経験者、地域関係者、私学関係者、教育関係者から御意見をいただくとともに、令和6年度には、学校運営協議会等の場をお借りして地域フォーラムを開催し、直接地域関係者や学校関係者から御意見を伺いながら、慎重に検討したところです。 |
| 本案は、子どもたちを無視した経費節減ありきのプランになっていると推測されることから白紙撤回すべきです。                                                                            | 統合にあたっては、今後の八千代市内の中学校卒業予定者数の減少が見込まれることなどを踏まえ、本プログラムで公表したものです。                                                                                                                                   |
| 高校側に伝えないで、統合することに関してとても残念に思います。                                                                                                | 令和5年度に地域協議会を行い、学識経験者、地域関係者、私学関係者、教育関係者から御意見をいただきました。令和6年度には、学校運営協議会等の場をお借りして地域フォーラムを開催し、直接地域関係者や学校関係者から御意見を伺いながら、慎重に検討してきたところです。                                                                |
| 八千代地区の激増した小中学生はいずれ高校生になる。この「プログラム（案）」は、少子化対策とは考えられない。                                                                          | 今後の中学校卒業予定者数やどの市町から通学しているか等を踏まえ検討してきたところです。いただいた御意見も参考として、魅力ある県立学校づくりについて検討を進めてまいります。                                                                                                           |
| 少子化対策となっているが、統合後の志願者数の予測はあるのか。                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                 |
| 普通科で対応できるのか。（総合学科等にしなくてもいいのか）                                                                                                  | 統合校には、普通科を設置し、両校の学びの継承も検討してまいります。いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。                                                                                                                                |
| 単位制（コース制）を導入予定だが、普通科における必須科目の削減と新設科目はどのようなになるのか。                                                                               | 具体的な教育課程や学びの内容については、今後設置する統合準備室において、両校の職員等と協議しながら検討してまいります。                                                                                                                                     |
| 単位制高校として対応するとのことですが、提案として介護福祉士がとれるような学校（希望者のみ）も考えます。                                                                           | いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。                                                                                                                                                                 |
| 学校名も検討すると書かれていますが、不登校の方も含む「学びの多様化学校」ということを方針とするなら、「八千代東高校」の校名をお願いします。                                                          | 校名については、その決定方法等も含めて、今後設置する統合準備室において、両校の職員等と協議しながら検討してまいります。                                                                                                                                     |

|                                                                                                                 |                                                                                                           |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>今回の「プログラム（案）」にあるウェルビーイングの実現、学びの多様化学校の実現は、八千代西高校で実践し、八千代東高校は現行の教育を継続する学校として残すことを望む。</p>                       | <p>いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。</p>                                                                    |
| <p>使用校舎については長寿命化改修工事基本計画に盛り込まれているが、（どの辺を改修・何時までに完了させるのか）魅力ある学校運営をするにあたり校舎建替の計画はあるのか。</p>                        | <p>御意見のとおり、八千代東高校は、長寿命化改修工事基本計画に盛り込まれており、校舎建替の計画はありません。また、具体的な改修箇所などについては、現在検討しているところです。</p>              |
| <p>少子加速化が進む中で統廃合後の見直しはあるのか。</p>                                                                                 | <p>統合後の見直しについては、現時点では決まっておりません。</p>                                                                       |
| <p>「学びの多様化学校」を公立高校に設置することは拙速である。千葉県では十分な検討がなされていない。「不登校児童生徒の実態に配慮した教育」は必要だが、「学びの多様化学校」の設置が支援策として適切なのか。</p>      | <p>学びの多様化学校の設置にあたっては、他団体の状況等を調査するとともに、本県における設置の検討を行い、本プログラムで公表したところです。いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。</p> |
| <p>学びの多様化学校（コース制）では、この学校に入学した生徒だけが支援を受けられるのでしょうか。</p>                                                           | <p>統合校に配置されるスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーは、統合校のすべての生徒を支援します。</p>                                               |
| <p>コース制とのことですが、入試の段階ですでに分けられるのでしょうか。例えば6学級募集だととして、学びの多様化学校希望者とその他の希望者はどう区別されるのでしょうか。</p>                        | <p>現時点では、出願時に、学びの多様化学校（コース制）への希望の有無を確認することを想定しています。</p>                                                   |
| <p>「学びの多様化学校（コース制）」の設置については、通常クラスとのバランスやコース制のクラス定員などの面で、統合校の構成等を再考する必要があるのではないかと考える。</p>                        | <p>いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。</p>                                                                    |
| <p>県の予算、少人数学級実現など根本的な問題解決に向けて、現場や生徒の意見に向き合い、より良い環境を求めるべきです。</p>                                                 | <p>いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。</p>                                                                    |
| <p>地域に開かれた学校を目指してほしいです。</p>                                                                                     |                                                                                                           |
| <p>【教育内容】の最後に「スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの配置」が挙げられているが、労働条件が厳しく働きにくい現状がある。常勤職員として配置してほしい。また、働きやすい職場環境をつくってほしい。</p> |                                                                                                           |

| 船橋豊富高校・船橋北高校 全日制高校の配置（統合）                                                       |                                                                          |
|---------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 御意見の概要                                                                          | 県の考え方                                                                    |
| 私の大好きな今の船橋北のままで残してください。生徒もちろん。先生もそれを望んでいます。                                     | これまで船橋北高校が取り組んできた活動については、統合校においても継承することとし、これまで以上に地域に信頼される学校づくりを進めてまいります。 |
| 船橋北高校を無くさないでください！！                                                              |                                                                          |
| 私は反対です。                                                                         |                                                                          |
| 船北を無くさないで欲しい。                                                                   |                                                                          |
| 母校がなくなるのはとても悲しいので統合して欲しくありません。他に違う考えを検討出来ないでしょうか？                               | これまで両校が取り組んできた活動については、統合校においても継承することとし、これまで以上に地域に信頼される学校づくりを進めてまいります。    |
| 県立船橋北高校と県立豊富高校をつぶし、統廃合することはやめてください。                                             |                                                                          |
| 生徒・保護者はこの規模での行き届いた教育に満足している。進路実績も好調に伸びている。廃校にするには惜しまれる学校である。船橋北高校を現行のまま残すべきである。 | これまで船橋北高校が取り組んできた活動については、統合校においても継承することとし、これまで以上に地域に信頼される学校づくりを進めてまいります。 |
| 大好きな母校が、これからはずっと続いていきますように、心から願っています。                                           | これまで両校が取り組んできた活動については、統合校においても継承することとし、これまで以上に地域に信頼される学校づくりを進めてまいります。    |
| これまでの歴史や築いてきた事をなくさないでほしいと思う。合併ではなく、各高校で成長していけば良いと思います。                          |                                                                          |
| 統合ではなく、両校がそれぞれの地域に根ざし、ひとりひとりの生徒に寄り添った教育を進めていくことができることを願っています。                   |                                                                          |
| 「使用校舎を船橋豊富高校とします。」を再考してほしい。                                                     | 統合校は、統合後に対応できる教室数、学校の敷地面積、生徒の通学の利便性等を考慮し、船橋豊富高校を使用校舎とすることとしました。          |
| わざわざ統合してもコースや授業内容だけを重視するのであれば豊富高校よりも船橋北高校の方が日常生活は楽しいものではないかと思います。               | これまで両校が取り組んできた活動については、統合校においても継承するとともに、これまで以上に活力と魅力あふれる学校づくりを進めてまいります。   |
| 豊富高校への登校になるのでしょうか？中学生がここに行きたい、ここなら通える、理由になる条件が豊富高校よりも船橋北高校の方がいると思います。           | これまで船橋北高校が取り組んできた活動については、統合校においても継承することとし、これまで以上に地域に信頼される学校づくりを進めてまいります。 |
| 使用校舎については、通学利便性・施設環境・周辺状況の観点から船橋北高校を使用することが最も適切であると考えます。                        | 統合校は、統合後に対応できる教室数、学校の敷地面積、生徒の通学の利便性などを考慮し、船橋豊富高校を使用校舎とすることとしました。         |
| 船橋豊富高校と船橋北高校を統合し、使用校舎を船橋豊富高校とあるのは、通学や学級数を考慮したなら、京成三咲駅に近くバスの便も良い船橋北高校にすべきである。    |                                                                          |
| 合理的な理由があり、多数の支持を得て、統廃合が進む場合、使用校舎としては、船橋北高校を使用していただきたく、強く要望いたします。                |                                                                          |

|                                                                                                                                                 |                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 合併するなら船北の園舎と制服を採用して欲しいです。                                                                                                                       |                                                                                 |
| 船橋北高校・女子生徒の制服が、ロコミ千葉県内の高校で第2位となっておりとても人気が高いです。志望動機に繋がる大きな要因となりますので、継続して使用していただきたいです。                                                            | 制服については、今後設置する統合準備室において、両校の職員等と協議しながら検討してまいります。                                 |
| 定員を割り込み、学級あたり少人数であったとしてもその分ひとりひとりのケアが行き届き、結果、良い教育環境になると思います。生徒数が減ったから統廃合ではなく、今こそ少人数学級を実践すべきです。                                                  |                                                                                 |
| ヨーロッパの公立高校は1クラス20人、1学年2クラスです。千葉県でも1クラス20人、小規模で行き届いた教育ができる県立高校を目指してください。                                                                         | 高等学校の学級編制は、国の法律に基づき、1学級40人を標準としています。いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。             |
| 高校の専門学校化を阻止し公教育の果たすべき役割を守り「公立であるが故に実践できる少人数クラス編成で一人ひとりに行き届いた教育」を打ち出すべき。                                                                         |                                                                                 |
| 廃校にできればしてほしくないですが、なる場合は有効活用できるようにしてほしいです。スポーツ、音楽室を使えるようにしてカフェを作るなど無くなりそうな文化を次の世代に受け継がれるようなワークショップが出来る場など、展示、撮影、パーティ貸出など、思い出いっぱいの母校を無くさないでほしいです。 | 高等学校再編により使用しなくなる学校跡地については、必要に応じて地元市の御意見も伺うなど、有効活用について検討してまいります。                 |
| 両日の説明会でも申し上げましたが、地域の環境・ニーズをもっと捉えていただければ幸いです。船橋豊富は高齢化に向けて「まち・ひと・しごと創生法」など政府の取り組みについて考えてほしい「ところ」ではないかと思います。                                       | いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。                                                 |
| 八千代地区の八千代西高校・八千代東高校の統廃合を中止した上で、船橋豊富高校に総合学科を設置する。ただし、「プログラム（案）」の系列にある情報クリエイター系列とスポーツ科学系列を廃止する。福祉系と一般教養系のみとすることを望む。                               | 船橋豊富高校と船橋北高校の統合校では、両校の学びの特徴等を活かした系列を設置することとしており、これまで以上に活力と魅力あふれる学校づくりを進めてまいります。 |
| 生きていくために必要であったり仕事に繋がるような、例えばDIY 学科（中学の技術よりももっと中身のあるもの）や片付け、収納学科にみたいな目新しいものはいかがでしょうか。これを機にして私立みたいに特進コースをつくるのも良いと思います。                            | いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。                                                 |
| 系列設置例として「ウエルビーイング」系列とありますが、「福祉系列」でよい。むしろウエルビーイングな学び、ウエルビーイングな学校づくりをめざしたらよいのではないのでしょうか。                                                          | 御意見を踏まえ、設置予定の系列を「福祉の系列」としました。                                                   |

|                                                                                                                            |                                                                                                                   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 船橋北高校のコミュニティースクールのとりくみや地域と連携した学校行事、進路活動等特筆すべきものがあります。これらをしっかり引き継いでもらいたい。                                                   | これまで船橋北高校が取り組んできた地域との連携については、統合校においても継承することとし、これまで以上に地域に信頼される学校づくりを進めてまいります。                                      |
| 船橋北高校のコミュニティースクールの教育活動をぜひ今後も継承してほしい。                                                                                       |                                                                                                                   |
| 豊富高校と船橋北高校の統合はなぜ豊富高校側の特性が活かされるのでしょうか？                                                                                      | これまで船橋北高校が取り組んできた活動については、統合校においても継承することとし、これまで以上に地域に信頼される学校づくりを進めてまいります。                                          |
| 私が船北で得た人との関わりの心地よさを次の学生たちにも経験して欲しいです。                                                                                      |                                                                                                                   |
| 船橋北高校には全国大会に出場するなど、活発で有名な部活動もありその環境や実績は簡単に再現できるものではありません。統合後も、それらの活動が継続できる環境整備をお願いしたく、豊富高校で同等の部活動が継続されるのかについても不安があります。     |                                                                                                                   |
| 統合校としては、利便性の高い船橋北高が望ましいが、船橋豊富高とする場合は、グラウンドの整備等（北高のグラウンド使用も含む）で柔軟な対応が望まれます。                                                 | 高等学校再編により使用しなくなる学校跡地については、必要に応じて地元市の御意見も伺うなど、有効活用について検討してまいります。                                                   |
| 野球場について、豊富高校は長年部員がいない状態で、手入れがされていないので、2年後の統合のさいに、船橋北高校のグラウンドを使用できるようにご配慮ください。                                              |                                                                                                                   |
| プログラミングやeスポーツについて、指導者の確保について近隣の大学や専門学校と連携するなど見通しがあるのでしょうか。                                                                 | プログラミングやeスポーツ等の専門的な学びについては、統合校の職員のほか、外部人材の活用等も検討しています。具体的な教育課程や学びの内容については、今後設置する統合準備室において、両校の職員等と協議しながら検討してまいります。 |
| 生徒の希望も含めて生徒の興味や関心、進路に応じた多様な選択科目、施設・設備及び予算そして、系列に必要な教員の確保はできるのでしょうか？現状でも高校で必要な人員が不足している時に、特に専門知識や資格等を有した教員の確保は、現状では困難ではないか。 | 総合学科における専門的な学び等については、統合校の職員のほか、外部人材の活用等も検討しています。具体的な教育課程や学びの内容については、今後設置する統合準備室において、両校の職員等と協議しながら検討してまいります。       |
| 高校統合の総合学科を立ち上げて継続できるのでしょうか？正直疑問です。                                                                                         | 総合学科における専門的な学び等については、統合校の職員のほか、外部人材の活用等も検討しています。具体的な教育課程や学びの内容については、今後設置する統合準備室において、両校の職員等と協議しながら検討してまいります。       |
| 卒業生や地域住民に対して統合の話は未だ周知されておらず、SNS などを使い周知に努めるなど、早期に丁寧な説明が必要であると感じています。                                                       | 船橋地区においては、今年の6月と7月に県民説明会を実施し、統合を含む高校再編案について、丁寧に説明させていただいたところです。いただいた御意見は、今後の取組の参考とさせていただきます。                      |
| 統合、校舎の選定に際しては、卒業生やこれまで学校を支えてきた地域の想いを無視することなく、更に丁寧な説明と納得のいくプロセスをお願い申し上げます。                                                  |                                                                                                                   |

|                                                                                                       |                                                                                                                                                                          |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>今後の検討にあたっては、生徒、保護者、卒業生、地域住民への更なる丁寧な説明と声を反映した透明性のある判断をお願い申し上げます。</p>                                | <p>船橋地区においては、今年の6月と7月に県民説明会を実施し、統合を含む高校再編案について、丁寧に説明させていただいたところです。今後も、魅力ある県立高校づくりに努めてまいります。</p>                                                                          |
| <p>関係団体から意見聴取するとのことですので、バス会社への聞き取りも行ったうえで策定していただけとなお良いかと思います。</p>                                     | <p>いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。</p>                                                                                                                                   |
| <p>現状をもう少し時間をかけて把握しませんか、急ぐことは、利益を取ろうとしている人がいるかの把握を困難にして。生徒に使えるお金を捨てることにならないかの検討をさらにする必要があるのではないか。</p> | <p>令和5年度に地域協議会を行い、学識経験者、地域関係者、私学関係者、教育関係者から御意見をいただきました。令和6年度には、学校運営協議会等の場をお借りして地域フォーラムを開催し、直接地域関係者や学校関係者から御意見を伺いながら、慎重に検討し、本プログラムで公表したものです。今後も、魅力ある県立高校づくりに努めてまいります。</p> |
| <p>統合の計画はさまざまな考えがあつてのことだとは十分に承知しておりますが、改めて慎重に考えたうえで結果を出していただきたいと思います。と思っています。</p>                     |                                                                                                                                                                          |
| <p>船橋豊富高校の近くには東京学館船橋高校があり、すでに情報に関する学科を有している。私学の無償化が進んでいる現在、競合するのではないかと？</p>                           | <p>プログラミングやeスポーツ等の専門的な学びについては、統合校の職員のほか、外部人材の活用等も検討しています。具体的な教育課程や学びの内容については、今後設置する統合準備室において、両校の職員等と協議しながら検討してまいります。</p>                                                 |
| <p>総合学科の説明ですが、「25単位以上履修し」ではなく「25単位以上開設し」ではないでしょうか。</p>                                                | <p>御意見を踏まえ、「25単位以上開設し」に修正しました。</p>                                                                                                                                       |

| 沼南高校・沼南高柳高校 全日制高校の配置（統合）                                                                                  |                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 御意見の概要                                                                                                    | 県の考え方                                                                                                                               |
| 地域連携協働校が県南部、東部に限定されておりますが、地域ごと、学校の配置の濃淡や、地域との繋がりも住民意見をあらためて聴取され、沼南高校を地域連携協働校への指定を要望します。                   | いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。                                                                                                     |
| 教育の多様な選択肢として、現状では小規模校である沼南高校の単独での存続を要望します。                                                                | 生徒が多く友人や教職員との触れ合いやお互いの切磋琢磨の機会を確保し、教育課程の柔軟な編成や活力ある教育活動を展開できるようにするには、一定の学校規模が必要だと考えています。学校の適正規模・適正配置の実施も進めながら、更なる学校の魅力化、活性化を図ってまいります。 |
| 今後の通信制希望の増加を見込み、今回新たに設置を検討するならば、安定した場所の確保が必要と思われる。沼南高柳高校の校舎の増設を考えていないのなら、沼南校舎の活用も検討した方がいい。                | いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。                                                                                                     |
| 今回の6校3組の統合案の中では、この両校の場合が最も複雑で困難を極めると推測される為、少なくとも教育課程をそろえることが可能な11年度まで延期することが適当です。                         | 具体的な教育課程や学びの内容については、今後設置する統合準備室において、両校の職員等と協議しながら検討してまいります。                                                                         |
| 昼間定時制の設置及び定通併置は賛成です。いまのニーズに合っていると思います。できれば東葛飾の夜間定時制もこちらに統合すると、学校の役割が明確になってより良いと思います。                      | いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。                                                                                                     |
| 昼夜間二部制定時制ではなく「昼間二部制定時制の課程（午前部・午後部）」とする理由について知りたい。                                                         | 県内の三部制定時制高校において、午前部と午後部の志願倍率が高く、ニーズの高さがうかがえることが理由です。                                                                                |
| 「定時制の課程では他部履修や定通併修を活用し」とありますが、「通定併修」はできるのでしょうか。フレキシブルスクールですので、このしくみも作ってほしいです。                             | 統合校は、定時制の課程と通信制の課程を併置することで、定時制と通信制の授業を相互に履修することが可能です。                                                                               |
| フレキシブルスクール（定時制の課程と通信制の課程の併置校）の設置自体は否定しませんが、準備段階においては、定時制や通信制の課程での勤務経験者を交えた、慎重な検討が必要と考えられます。               | 具体的な教育課程や学びの内容については、今後設置する統合準備室において、両校の職員等と協議しながら検討してまいります。                                                                         |
| 現在までの千葉大宮高校や3校ある3部制定時制の経験を生かした形で検討を進めてほしい。その意味で、千葉大宮高校や松戸南・生浜・佐倉南高校の現場教職員の意見交流の場をもってほしい。                  | 具体的な教育課程や学びの内容については、今後設置する統合準備室において、両校の職員等をはじめ、様々な意見を聞きながら検討してまいります。                                                                |
| 「オンラインに特化」の内容が不明で心配です。必要な教職員数の配置、修学支援（生徒の負担軽減）など課題を整理して、生徒一人ひとりの学びが無理なくできるような学校づくりを丁寧に進めてほしいです。           | スクーリング（面接指導）では、従来の対面方式に加え、一部オンライン方式も検討しています。<br>生徒一人一人に寄り添った学びを取り入れられるよう検討してまいります。                                                  |
| 【教育内容等】で、「日本語を母語としない生徒等、多様なニーズに応じた教育課程」とありますが、三部制定時制で行われている「日本語基礎」のような自由選択講座、日本語学習支援の教職員・支援スタッフの配置を要望します。 | いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。                                                                                                     |

| 地域連携協働校の指定                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 御意見の概要                                                                                                                                                                                                                                                                        | 県の考え方                                               |
| <p>1 つ目の囲みの2行目第2文の冒頭の接続詞部分を、文言を追加して「～を展開します。また、必要に応じて、近隣の高校を協力校として～」に修正する。理由は12ページ下部の引用文にあるように、地域連携協働校とは、あくまでも「学校と地域が連携・協働し、地域ならではの資源を活用した教育活動を展開するために」指定される学校です。それ故に、同引用文の第2段落第1文でも、「必要に応じて、」の文言が入っていることから分かるように、「地域ならではの資源を活用した教育活動」の「展開」には、必ずしも「近隣の高校を協力校と」する必要はありません。</p> | <p>協力校と連携した教育活動については、地域連携協働校の状況等に応じて取り組んでまいります。</p> |
| <p>3ページ【再編の内容】第1文の後半にも、同様の表現を「～を地域連携協働校に指定し、必要に応じて、近隣の高校を協力校として、～」に追加する。</p>                                                                                                                                                                                                  |                                                     |
| <p>【指定校の目指す姿】4点の内、2～4番目の記載順番を入れ替える。2番目を「高校と地域、企業、～」とし、3番目に「必要に応じて」という文言を冒頭に加えた上で、「近隣校を協力校に指定します。」とし、最後に現行3番目の「指定校では～」とする。理由は地域連携協働校においては、学校と地域の連携・協働が主であり、協力校の指定はあくまでも従です。</p>                                                                                                |                                                     |

| 今後の魅力ある学校づくり                                                                                                                                                                                                                             |                                        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|
| 御意見の概要                                                                                                                                                                                                                                   | 県の考え方                                  |
| <p>デジタル併願性によって、県立に行きたい子はほぼ確実に県立に進学できます。私立高校無償化への対抗策とも言えますので、まさに今、導入すべきです。</p>                                                                                                                                                            | <p>いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。</p> |
| <p>実績を伸ばした日比谷高校を研究し、そのカリキュラムを進学重点校や中高一貫校に取り入れる、土曜授業を開催する、20人授業を実施する、45分授業を開催する、塾と連携を図る、Native講師を数人置き英語教育に力を入れる、大学受験対策をしっかりと実施するなど、いくらでもできます。</p> <p>国の私立無償化で、知事が独自に行っていた私立高校家庭への助成金が浮くはずで。また、より積極的に同窓会から寄付を募るのも有効に思います。立案と実行をお願いします。</p> |                                        |
| <p>県千葉、県船橋、県東葛、または追加して県千葉東、県佐倉の3校または5校の進学実績を伸ばし、魅力を高め、優秀な学生を千葉県に留めさせるのが重要と考えます。</p>                                                                                                                                                      |                                        |
| <p>千葉県も学区制の廃止によって、トップ校の合格実績は伸びると予想されます。進学実績の低い高校は定員割れになるかも知れませんが、それは必要な廃合と考えます。</p>                                                                                                                                                      |                                        |
| <p>公立高校の教員は、公立高校が減少することの危機感は私立高校の職員よりも少ないように感じます。</p>                                                                                                                                                                                    |                                        |
| <p>外国籍の子供たちに一定期間日本語を学習させる公的機関（高校入学前に通う日本語学校的なもの）を提供することも必要ではないでしょうか。高校では荷が重すぎます。</p>                                                                                                                                                     |                                        |
| <p>「職員数が足りないとか、生徒数が多すぎる、なんとかしてくれ。」という議論を解消する方法は①管理職を含め、教職員は中学校訪問に行かない。②中学校訪問は、その中学校を卒業した生徒が、資料を持って行く。です。</p>                                                                                                                             |                                        |
| <p>校長は、中学校で信頼されている実力者を起用する。</p>                                                                                                                                                                                                          |                                        |
| <p>スマホ依存や、巧みな誘導により、生徒の学習時間の多くが奪われているという実感もあります。視力の低下は学力に影響すると思われます。</p>                                                                                                                                                                  |                                        |

|                                                                                                                        |                                                                                                   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>生徒のために事を荒立てないという言葉にほとんどの教諭が賛同しているうちに、真面目に中立を保ち、目立たず、常に現場を重視するという地道な努力をしている管理職が、評価されず悲しい無念を抱く制度になってはいないかと心配します。</p>  |                                                                                                   |
| <p>不登校気味の生徒対応もする場合は、よほど重点的に人員配置をしなければ、学校経営が成り立たなくなる可能性があると思います。公立高校を潰すのでない限り、経営危機対策は万全を期すべきと考えます。</p>                  |                                                                                                   |
| <p>予算削減の方法を考えてみました。それは、壁は、教師の指導のもと生徒に塗ってもらう。予算は文化祭の予算を用いる。です。</p>                                                      |                                                                                                   |
| <p>ぜひ事前の見積もり、契約内容を精査し、使うべき所にお金が使えるように強く要望します。</p>                                                                      |                                                                                                   |
| <p>きれいな校舎を要求するのではなく、校舎をきれいにする力をつける、限られた資源で満足する、仲間を大切にする。など、生きる工夫、考える力、借金を増やさない生き方、洗脳されない生き方を身につける場としての公立高校を存続させたい。</p> |                                                                                                   |
| <p>倍率が0.7倍程度、40人クラスに対して28人、12人足りないような場合は当てはまると思いますが、40人に対して39人、倍率0.975倍に対して今後の定員割れを見込んで議論に挙げるのは、筋が通らないと思います。</p>       | <p>統合にあたっては、今後の各地区の中学校卒業予定者数の減少が見込まれることなどを踏まえ、本プログラムで公表したものです。いただいた御意見は、今後の教育行政の参考とさせていただきます。</p> |
| <p>今後の検討にあたっては、生徒、保護者、卒業生、地域住民への更なる丁寧な説明と声を反映した透明性のある判断をお願い申し上げます。</p>                                                 | <p>今後も地域住民の方をはじめ広く県民の皆様から御意見を伺いながら、魅力ある県立高校づくりに努めてまいります。</p>                                      |